



医療法人 清須呼吸器疾患研究会
はるひ呼吸器病院

看護職員募集案内

病院概要

当院は呼吸器疾患治療の発信地となります

「はるひ呼吸器病院」は、2016年5月に新設した東海地区で唯一といえる呼吸器疾患専門病院です。

呼吸器疾患においては、肺がん、間質性肺炎、肺気腫などのCOPD、気管支喘息、肺炎、睡眠時無呼吸症候群および急性呼吸不全など急性期治療が必要なものから慢性期治療に移行していくものまでさまざままで、大学病院などの大病院でさえ一貫して診療にあたることは難しい分野です。

当院は64列CT、1.5テスラMRI、超音波気管支鏡(EBUS)、精密肺機能検査機器、ポリソムノグラフィー(PSG)、クライオバイオオプシーを備えています。一般病床80床、医療療養病床40床を有し、急性期から慢性期にいたる呼吸器疾患患者さまへの一貫した診断・治療に応えられる病院となっています。当院の理念である「病気を診ずして病人を診よ」の精神に共感し、ともに発展に貢献していただける看護師をお待ちしています。

はるひ呼吸器病院
院長 齊藤 雄二



基本理念

「病気を診ずして病人を診よ」

患者さまやご家族に信頼される医療を実践していきます

呼吸器を軸とした専門性の高い地域に密着した医療を提供していきます

基本方針

- 1 患者さまやご家族が安心できる医療を提供します
- 2 患者さまが信頼できる医療の質の向上を目指します
- 3 呼吸器科医療を軸としての専門性を高め、地域に密着した医療および在宅医療を行います
- 4 全職員が常に患者さまの立場になって行動します

看護部 基本理念

看護部

患者さまを全人的に理解し、
安心できる看護を提供します

看護部方針

- 1 呼吸器疾患専門病院であることを認識し、自己研鑽に努めます
- 2 他部門と連携し、患者さま中心のチーム医療を実践します

看護部目標

1 接遇の向上

- はるひ呼吸器病院の職員として相応しい身だしなみや態度の醸成
- 職員の対応に対する患者さまからのお声に対する改善の検討会実施

2 病院経営への積極的な参画

- ベッドコントロール、適正な人員配置
- 急性期一般入院料1の維持、ベッド稼働率の向上

3 人材育成と自己啓発・自己研鑽の推進に努め、活気ある職場環境を作る

- 看護職員の院内・院外研修への参加の推進
- キャリアラダーの構築
- 看護助手との協働の推進

看護部長

「患者様の立場に立った、良質な医療」を追求し続けていくことが私達医療者の務めです。その為に当院の看護部では呼吸器専門病院として、患者さまの権利を尊重し、安心して満足・信頼できる看護サービスを提供できる確かな知識と技術を身に付け、人としても成長していくける「自立した看護師」の育成を目指しています。

看護師にとって、一番大切なことは人に関心を持つことです。患者さまから学び、自分の成長につなげる姿勢を醸成できるよう教育体制を整え、一人ひとりの看護師の成長を支援しています。キャリアアップ支援として、認定看護師や資格取得の推進も行っています。

スタッフ全員が気持ちよく働き続けられる病院であるよう、互いに協働し、看護の喜びを見出しながら成長ていきましょう。



看護部長
牧野仁美

看護部の特色



安心の看護体制

当院の一般病棟は、急性期一般入院料1の看護体制をとっており、患者さまに対して手厚い看護を提供しております。療養病棟では療養病棟入院料1の看護体制をとっております。

患者さまに寄り添った看護体制

看護方式はプライマリーナーシングを採用しており、手術や術後管理、呼吸器疾患の急性増悪等の急性期医療から療養病棟や在宅医療までシームレスな看護の提供を可能にしております。



質の高い呼吸器ケアの RST 活動

他職種カンファレンスや呼吸器疾患を軸とした内科・外科療法の看護を通じて、呼吸器ケアを学ぶことが出来ます。そして慢性呼吸器疾患認定看護師を中心に RST(呼吸サポートチーム)活動による呼吸器ケアの標準化と勉強会開催による呼吸器ケアのレベルアップを図っております。

教育体制の充実

看護部内研修、院内研修、外部研修と、さまざまな教育プログラムを用意しています。

看護部内研修

- 部内勉強会開催
- RST（呼吸サポートチーム）活動

院内研修

- 他部門主催勉強会
- ME（臨床工学技士）による機器管理研修

外部研修

- 外部研修補助制度
- 外部講師による勉強会に参加可





専門医による診療

院長は日本呼吸器学会指導医、日本アレルギー学会指導医（専門医の指導をする医師）で呼吸器・アレルギーの専門医です。さらに呼吸器専門医が3名、アレルギー専門医が1名在籍しており、専門的な治療が可能になっています。

途切れのない医療・介護体制

『はるひ呼吸器病院』を核として、法人内の4つの施設が情報を共有し、密に連携を取ることで急性期から慢性期医療はもちろんのこと、在宅診療、居宅介護まで常に患者さまに必要なサービスが提供できる途切れのない一貫体制を実現しています。



臨床研修指定病院

基幹型臨床研修指定病院である稻沢市民病院の協力型臨床研修指定病院として認定されています。呼吸器疾患の発信地として、研修医の受け入れ体制を構築しています。

尾張西北部広域第二次救急病院

尾張西北部広域第二次救急病院として、地域医療提供体制の構築に寄与しています。医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師が24時間365日救急外来の対応を行っています。

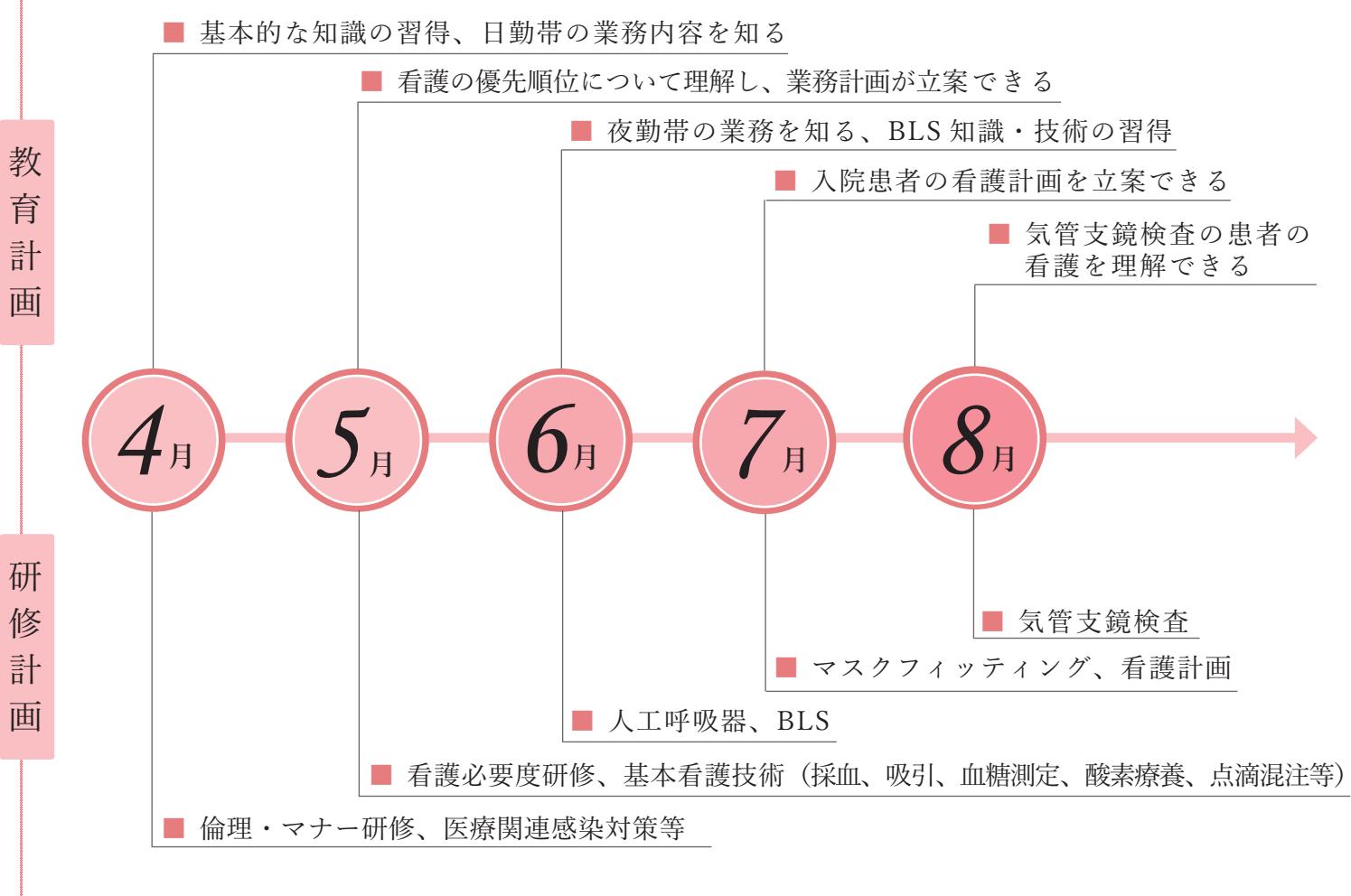


受持患者のベッドサイドケアが “安全・安楽”に実施できる

教育方針

入職時からほぼ1年間にわたって新人看護職員研修ガイドラインに基づき、系統的な集合教育を計画的に行い、OJTで実地指導を行います。研修は、基礎看護技術・医療安全・感染対策・救急看護・褥瘡対策・接遇・倫理・看護記録・メンタルヘルス等のプログラムが予定されています。

当院では新人教育にプリセプター制度を取り入れています。新入職者には経験者であっても、プリセプターが担当につき指導をおこなっていきます。それは、はるひ呼吸器病院の概要と機能を理解し、各部署の特性を個々のレベルに合わせて指導していきたいとの考え方からています。教育担当者がプリセプターのフォローを行う体制をとりながら、新人のペースに合わせて各部署の看護スタッフ全員で育成していくシステムをとっています。



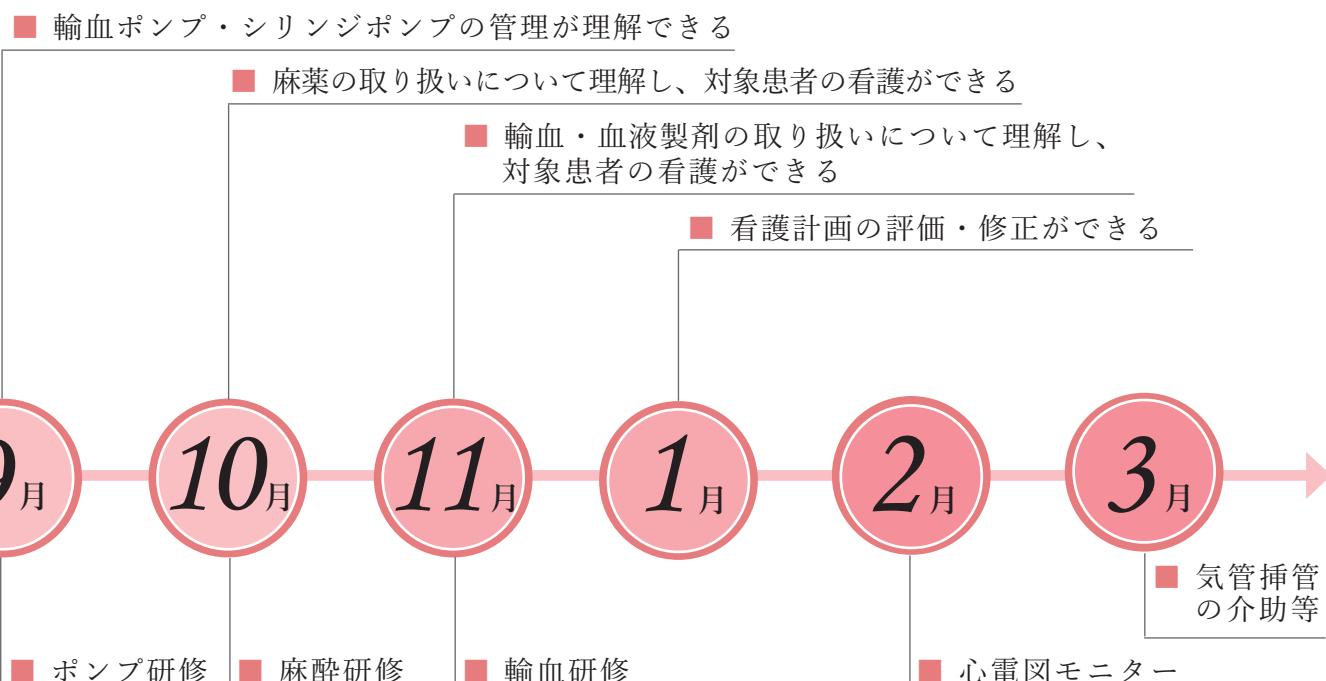
教育担当師長

当院は、呼吸器疾患専門病院ですが、外来では、呼吸器内科・呼吸器外科だけでなく、内科・消化器内科・循環器内科の診療もおこなっています。一般病床では、呼吸器疾患以外の疾患を含めた急性期や慢性期、在宅療養に向けての準備が必要な方や、また終末期の方が入院されています。医療療養病床は、人工呼吸器や酸素療法などの処置が必要で、色々な理由で在宅療養が困難な方が入院の対象となります。そのため、様々な疾患に対する治療や処置、ケアに関わることができます。

院内研修・外部研修で知識、技術を習得できる機会や、カンファレンスなどの多職種と意見交換の場や分からぬことを聞くことができる環境があります。こういった中で、看護師として成長していくことができるのではないかと思っています。行き届かない部分もあるかと思いますが、ぜひ一緒に、患者さまにとっても、職員にとってもよりよい病院にしていきましょう。



教育担当師長
長瀬 靖子



プリセプター制度

プリセプター制度とは、一人の先輩看護師（プリセプター）がある一定の期間、一人の新人看護師（プリセプティ）に対して、マンツーマンで臨床実践を指導する方法です。新人看護師のリアリティショックを緩和し、看護実践能力の獲得を支援する教育体制として導入しています。

教えて！先輩看護師

はるひ呼吸器病院で働く 先輩看護師の声を集めてみました



一般病棟
永井 大貴

男性看護師としての視点を大切にしています

これまでの看護師経験の中で、呼吸器疾患を抱える患者さまへの看護に興味を持ち、数少ない呼吸器の専門病院であり、急性期から在宅までの幅広い専門的な看護を学ぶことができると思い入職を決めました。

一貫した診療体制の中で専門的に看護師として他職種と連携できることはこの病院の大きな魅力だと思います。

私は中途採用での入職でしたが、先輩方が親身に指導してくれて、新たな学びも多く自分を高められています。男性としての看護師の視点で常に探究心を持ち、周りのスタッフに刺激を与えられるような看護師になりたいと考えています。病院理念に基づいて、患者さまとのコミュニケーションを大事にしていきたいです。呼吸器に興味がある方だけではなく、男性看護師も増えているので、一緒に学びながら、楽しく働いていきましょう！

皆さんと働けるのを楽しみにしています。

新しいことにチャレンジする組織の中で 仲間と一緒に働いています

私は、以前東京の大学病院の呼吸器内科・呼吸器外科病棟で勤務をしていました。そうした経験を急性期で生かせる病院はないかと考え探していたところ、はるひ呼吸器病院を知り、自分の希望とマッチしていったため、入職を決めました。

職場には、同世代の看護師も多く、人間関係が良好のため、ストレスなく勤務できています。また、若い看護師がエネルギーに何事にも積極的に取り組みを行うなど、新しいことにチャレンジを多く行っている病院です。風通しが良く、堅苦しさがないため、未来への可能性を感じる組織だと思います。新人の頃は、学生の頃以上の苦労があります。楽であるとは決して言えませんが、一緒に成長しながら働けたら嬉しいです。お待ちしています。



一般病棟
川口佳子

呼吸器疾患の理解を深められることが 今の自分の強みです



一般病棟
野村純里

はるひ呼吸器病院は、呼吸器疾患専門病院であり、専門性を養うことが出来ると思い入職を決めました。呼吸器疾患の急性期から慢性期、さらに在宅ケアを一貫して行っている病院は全国的にも類を見ない病院だと思います。転職する前は、ICU や CCU などの高度急性期病院で働いていましたが、そうした病院でも気管内挿管に立ち会う機会は多くはありません。この病院で経験した挿管回数はすでに前職での経験回数を上回っています。若いうちから、こうした場面に立ち会えることは自分の成長につながると思います。実際に人工呼吸器に触って、経験を積めることはとても勉強になりますし、呼吸器疾患について理解を深められることが、今の自分の強みになっていると思います。

はるひ呼吸器病院では看護師同士だけではなく、医師、薬剤師、理学療法士、栄養士などの多職種と意見を交換する機会が多くあります。分からることはすぐに聞ける、すぐに解決できる院内の体制は、患者さまの治療上重要なことだと思います。

院内には優しい人ばかりですし、一人暮らしには優しい給食制度もあります。

まだまだ新しい病院ですが、きっと成長できるいい経験が出来ると思います。呼吸器疾患について一緒に学んでいきましょう。皆さんをお待ちしています。

慢性呼吸器疾患看護認定看護師を 目指しています

呼吸器分野に興味があり、慢性呼吸器疾患看護認定看護師の資格を取得したかったので、入職しました。呼吸器の専門病院ということで、今まで以上に様々な呼吸器疾患の患者さまと出会い、看護師として看護に携われたことはとても良かったと思います。

呼吸器経験のある看護師以外にも、様々な科を経験してきた看護師も多く在籍しているので、呼吸器科以外でも十分な看護が行える病院です。コミュニケーションが取りやすく、非常に楽しい雰囲気で働けています。

R S T 活動に注力し、患者さまに対するフォローを病院全体で取り組むように積極的であることも大きな魅力の一つだと思います。

他の職種との連携も取りやすく、分からることは分かりやすく指導してもらえるようになっています。私は、慢性呼吸器疾患認定看護師の資格を取得し、患者さまの支えになれるような看護師を目指して働いています。命に携わる仕事なので、大変ですが非常にやりがいはある仕事です。患者さまの笑顔のために、フレッシュな皆さんとはるひ呼吸器病院と一緒に働くことを楽しみにしています。



一般病棟
中村亜理沙

慢性呼吸器疾患看護認定看護師

安全で質の高い呼吸ケアを 患者さまに提供できるように



慢性呼吸器疾患看護
認定看護師

西 村 真 由 子

私は、呼吸器内科病棟で6年、空港診療所で4年勤務した後に、より患者さまのそばでの看護に戻りたいという思いで当時尊敬していた看護部長の紹介もあり入職を決めました。やってみたい！という気持ちを尊重してくれて、スタッフの意欲を大事にしてくれる病院で入職してよかったです。呼吸器の専門病院ということで呼吸ケアに興味を持っているスタッフが多く集まっていることも非常に魅力だと思います。

入院中だけではなく、在宅へ移行後も診療・看護・リハビリと、患者さまを中心としたサポートを行える体制が整っています。医療従事者だけではなく、病院で働く職員全員が“患者さまのために”日々の仕事に取り組んでいます。

患者さまの「苦しい」「辛い」といった表情や思いに接して、看護師として他に何か出来ることはないかと考え、呼吸器疾患における看護をもっと深めていきたいと思い、認定看護師を取得しました。この病院では、呼吸ケア管理という部門を立ち上げ、患者さまやそのご家族が少しでも安楽に過ごすことが出来るように、そして安全で質の高い呼吸ケアを受けていただけるように病院スタッフ全員の呼吸ケアに関する知識の向上を目指して業務に就いています。

具体的にはRST活動のコーディネーター、人工呼吸器管理および使用状況の確認・管理、RST勉強会の企画・実施、呼吸ケア教室（患者さま向け）の実施、COPD教育（患者さま向け）、退院支援、職員に対してのコンサルタント業務など多岐にわたります。

患者さまを一人で支えていくことは出来ません。多くの職種の力、連携が患者さまを支える力となります。あなたはどんな看護がしたいですか？その思いを私たちと一緒に、患者さまやご家族に届けていきましょう。あなたのその思いを病院はサポートしてくれます。

R S T と は ？



Respiratory Support Teamの頭文字をとった言葉で、主に「呼吸ケアチーム」と呼ばれます。チームのメンバーとして、医師や看護師、臨床工学技士など、多職種が参加します。

このチームは病棟を回って、人工呼吸器を装着した入院患者さまに対して人工呼吸器の設定が適切か、安全管理が守られているかどうか、といった確認を行います。このチームによって、患者さまにとってより適切な人工呼吸の管理が行われています。

勤務体制

はるひで、
あなたらしく働く

産休・育休

産休育休制度・保育手当制度

子育てをしながらも働く環境整備に努めています。仕事と家庭の両立がしやすく、働く女性を応援しています。院内での産休・育休取得実績もあり、お子さまの保育手当制度があります。

勤務シフト

希望通りやすい

勤務シフト作成時に希望を確認し、要望を可能な限り反映させるようになっています。有休取得を推進しているので、仕事とプライベートのバランスを取りやすい環境です。

通勤

車通勤・電車通勤いずれも快適

職員用の駐車場が完備されているので自動車通勤の方も安心。電車通勤の方は送迎車両（朝・夕）やタクシーが利用できます。

勤務体制

勤務時間

2交替 | 日勤 8:30 ~ 17:00
夜勤 16:30 ~ 翌9:00

昇給

年1回（4月）

休日

4週8休シフト制
(その他夏季休暇、冬季休暇あり)

賞与

年2回（7月/12月）

年次休暇

6ヶ月経過後、10日付与
(労働基準法に準ずる)

退職金

当院規定により支給

その他休暇

慶弔休暇、産前産後休暇、
育児休暇、介護休暇等

通勤方法

自家用車通勤可
(駐車場一部自己負担金あり)

■公共交通機関での通勤には、
名鉄「西春駅」より病院車両による
送迎、タクシー利用制度あり

給食

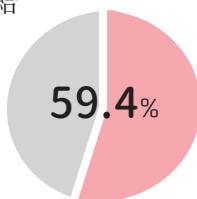
平日の昼食：月額5,000円

■土日祝の昼食および
夜勤時の夕食・朝食は無料

福利厚生

子育て支援

- 産前産後休業・育児休業
- 保育手当支給



有給取得率

キャリア支援

- 外部研修補助制度
- 認定資格支援取得

69件/年

外部研修参加数

その他福利厚生

- 割引制度
日本病院会倶楽部の割引が
利用できます
- 給食制度
月額5,000円で食堂が
利用できます
- 各種助成金あり
結婚祝い金、出産祝い金等

病院概要

- 名 称 医療法人清須呼吸器疾患研究会
はるひ呼吸器病院
- 病院開設 2016年5月1日
- 診療科目 内科 呼吸器内科 呼吸器外科 アレルギー科
消化器内科 循環器内科 病理診断科
- 病床数 120床（一般病床80床 / 療養病床40床）
- 日本呼吸器学会認定施設 ● 日本アレルギー学会認定教育施設
- 二次救急指定 24時間救急外来対応 ● 臨床研修指定病院



看護体制

- 急性期一般病棟入院料1(7:1) ● 療養病棟入院料1(20:1)

関連施設

- 須ヶ口クリニック ● 訪問看護ステーションゆう ● ケアプランハウスゆう

アクセス



自動車

- 名古屋方面から
名古屋高速「清須IC」、名二環「清洲東IC」から北へ約5分
- 一宮・岐阜方面から
名古屋高速「一宮西春IC」から南へ約10分
- 桑名・四日市方面から
東名阪自動車道経由、名二環「清洲東IC」から北へ約5分

駐車台数：70台

電車

- 名古屋鉄道犬山線「西春駅」下車、タクシーで約10分

採用・病院見学に関するお問い合わせ

はるひ呼吸器病院 人事採用担当

TEL 052-400-1777

〒452-0962 愛知県清須市春日流8番地1

✉ human_resources@kiyosu-kokyuki.com
<http://www.kiyosu-kokyuki.jp/>

病院見学、説明会を行っています
新卒・既卒いずれも募集中！
個別にも相談させていただきます



2019年2月改訂